

株式会社アクシス 2022年12月期 決算補足説明資料

2023年 2月 9日



証券コード：4012 / 東証スタンダード

I 2022年12月期 連結決算実績

II 2023年12月期 通期業績見通し

Appendix ～ 中期経営計画、財務ハイライト ～

I 2022年12月期 連結決算実績



売上高

5,854百万円

(前期比+22.6%)

(予想比+4.9%)

営業利益

576百万円

(前期比+14.2%)

(予想比+14.4%)

営業利益率

9.8%

(前期比-0.8p)

(予想比+0.8p)

■ポイント

- ✓ 売上高は前期比+22.6%（予想比+4.9%）、2期連続で20%を超える成長率を達成
営業利益も同+14.2%（予想比+14.4%）と、3期連続で10%を超える成長率を達成
- ✓ 売上高、営業利益ともに過去最高を達成
- ✓ DXを含む企業のITシステム投資が好調。特に、公共、情報通信の受注が増大
- ✓ 営業利益率は先行投資により前期比で-0.8pも、9.8%と高水準を維持
- ✓ 新型コロナウイルス、ウクライナ情勢、円安、資源高及び物価高の業績への影響はなかった

DXを含む企業のITシステム投資が好調、前期比で大幅な増収増益を達成。売上高は、中期経営計画の年間平均成長率13.2%を大きく超過し22.6%

成長戦略の伸長により、当初想定よりビジネスパートナー比率増を実現。売上総利益率は減少も、売上増により営業利益は増加

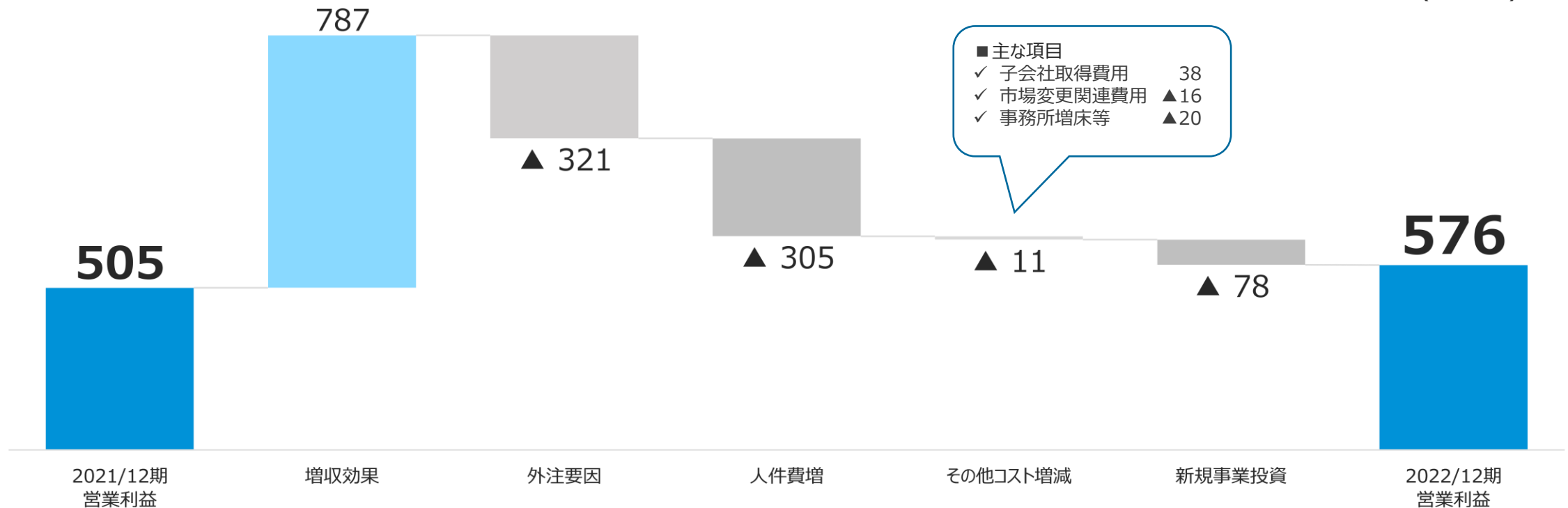
(百万円)

	2021/12期 (連結)	2022/12期 (連結) 通期予想	2022/12期 (連結)	前期比		予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,774	5,580	5,854	+1,080	22.6%	+274	4.9%
売上総利益	1,293	1,519	1,495	+201	15.6%	▲23	-1.6%
営業利益	505	504	576	+71	14.2%	+72	14.4%
経常利益	528	515	586	+58	11.0%	+71	13.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	349	348	390	+40	11.7%	+42	12.1%
1株当たり当期純利益 (円)	87.30	85.82	97.05	+9.75	11.2%	+11.23	13.1%
売上総利益率	27.1%	27.2%	25.5%		-1.6p		-1.7p
営業利益率	10.6%	9.0%	9.8%		-0.8p		+0.8p
経常利益率	11.1%	9.2%	10.0%		-1.1p		+0.8p

大幅な売上増加により、増強したエンジニアの person 費や新規事業への投資などの減益要因を吸収し、増益を達成

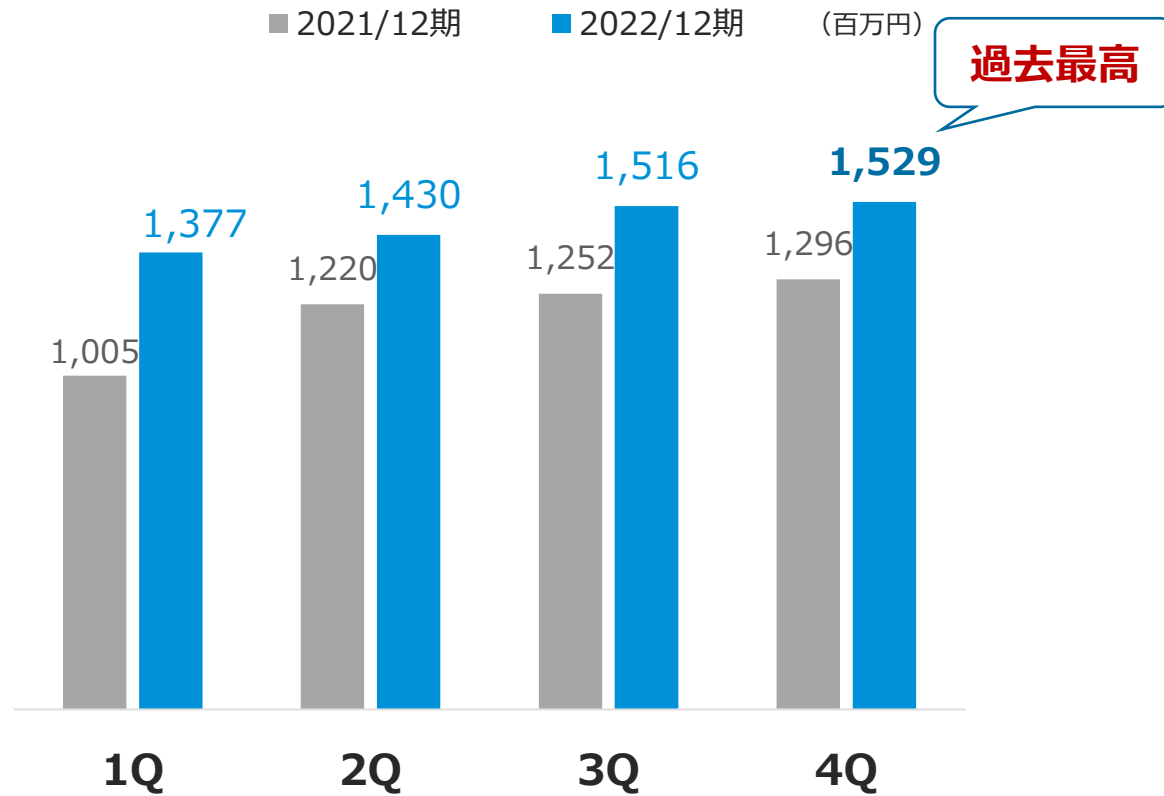
営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)

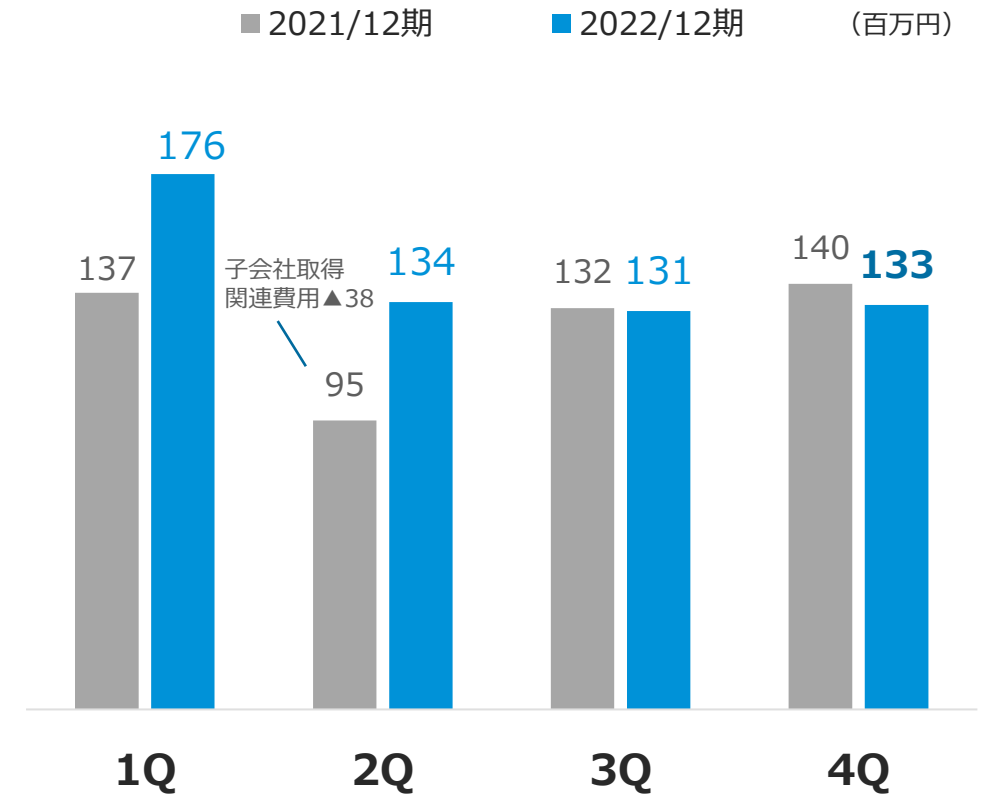


四半期業績は好調に推移し、売上高は各四半期会計期間で過去最高を更新

売上高



営業利益



営業強化による人件費増、事業拡大のための増床等

旺盛なDXを含む企業のIT投資を背景にシステムインテグレーション事業は好調に推移、受注残も増加

ITサービス事業については、クラウドサービス「KITARO」（リアルタイム運行管理サービス）が堅調に推移

(百万円)

		2021/12期	2022/12期	前期比	
				増減額	増減率
システムインテグレーション事業(SI)		4,513	5,569	+1,056	23.4%
ITサービス事業(IT)		260	285	+24	9.4%
合計(売上高)		4,774	5,854	+1,080	22.6%
主要KPI					
SI	受注残高(百万円)	1,054	1,304	+249	23.6%
SI	プロジェクト件数	252	302	+50	19.8%
SI	プロジェクト平均受注額(千円)	17,911	18,449	+538	3.0%
IT	「KITARO」契約台数(台)	7,985	8,067	+82	1.0%

※クラウドサービス、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスをITサービス事業に集約しております。
 なお、前期においては、セキュリティサービス、デジタルコンサルティングサービスはサービス開始しておりません。

事業別売上高：システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は連結子会社も含めて好調に推移

新規金融顧客との直接取引開始、金融大型案件の受注により売上増

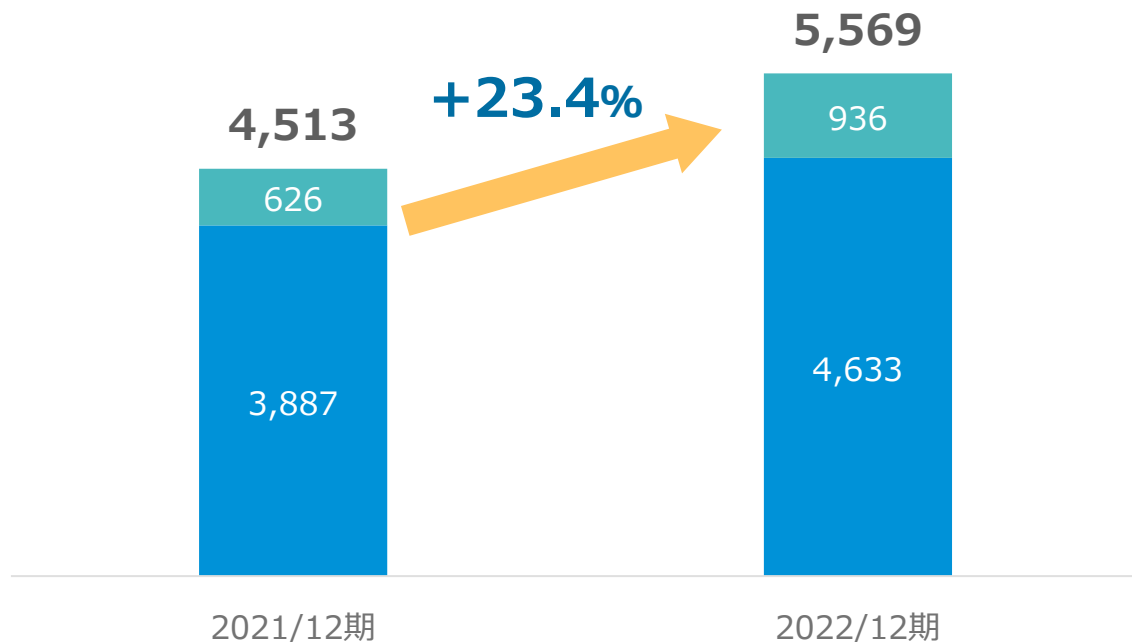
上場による信用度向上が寄与し、エンジニア増、パートナー増を実現

受注残は、前四半期比、前年同期比ともに堅調に増加

SI事業 売上高

(百万円)

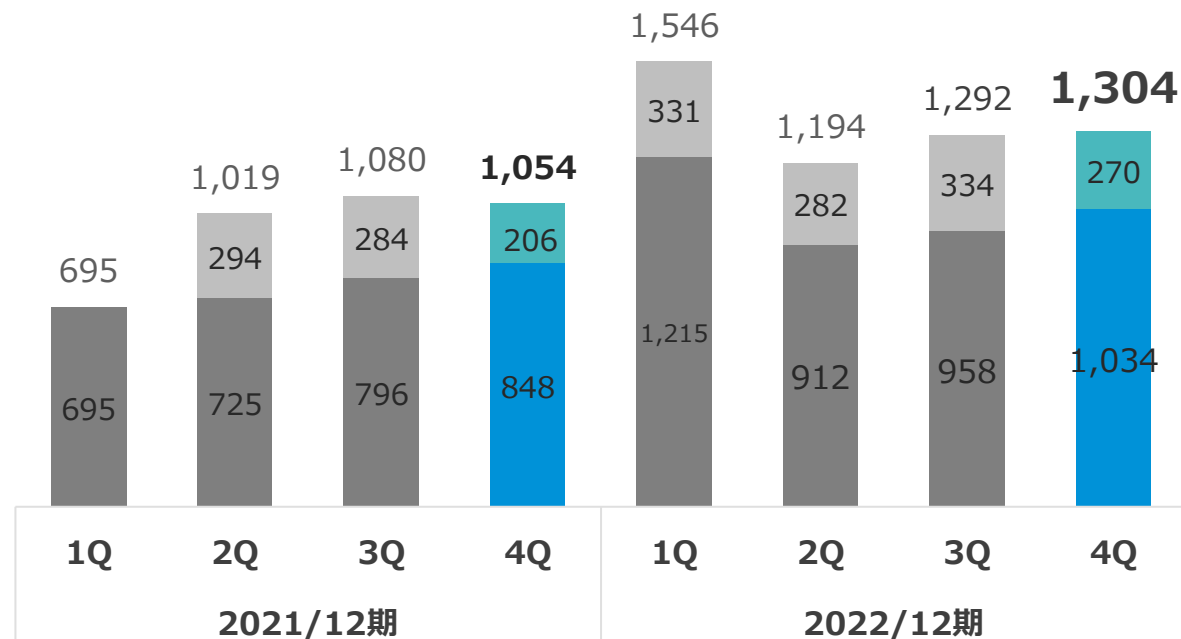
■ アクシス ■ 連結子会社



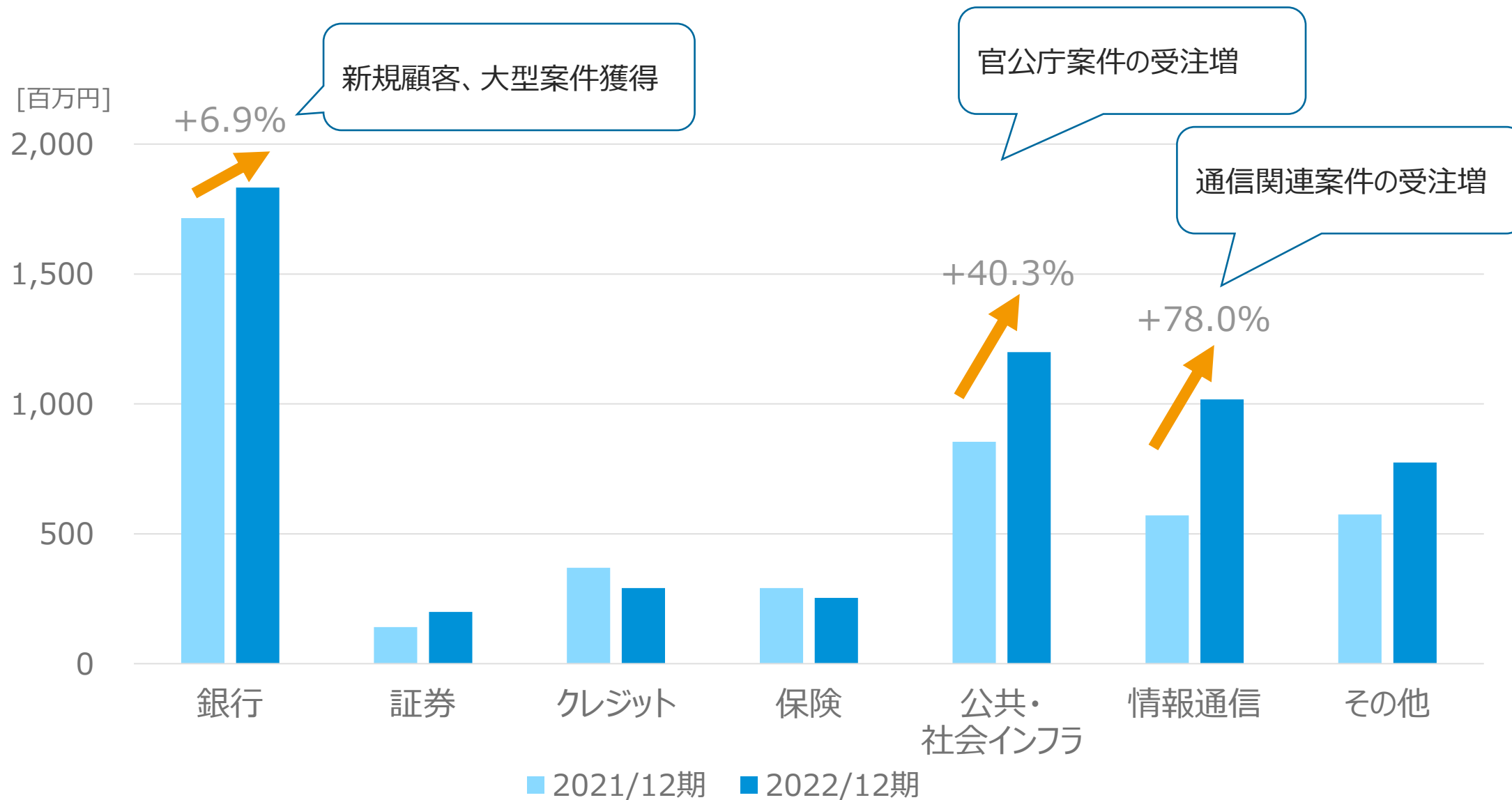
受注残高の四半期別推移

(百万円)

■ アクシス ■ 連結子会社



事業別売上高：システムインテグレーション事業：業種別売上高



ITサービス事業は、クラウドサービス「KITARO」の契約台数増加に伴い堅調に推移

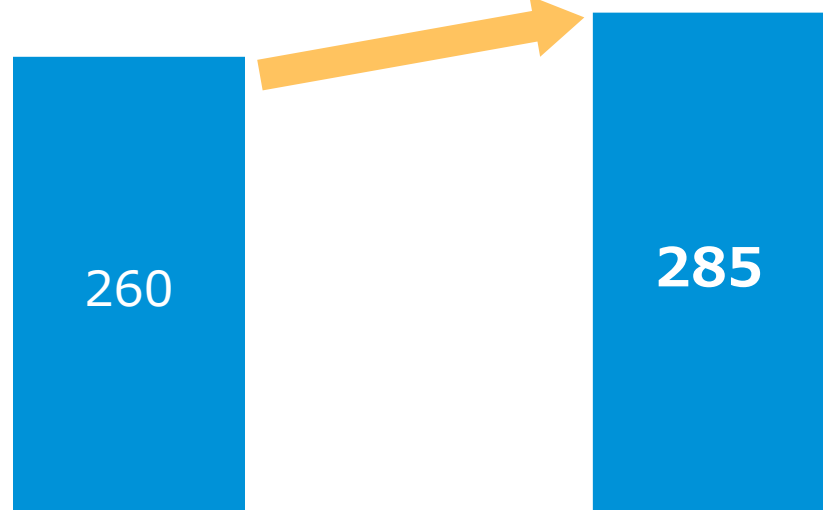
契約台数は前期より微増

セキュリティ及びデジタルコンサルティングサービスは、提供サービスのリリースや業務提携等は予定通り行えた一方、本格的な営業開始や人材育成が遅延

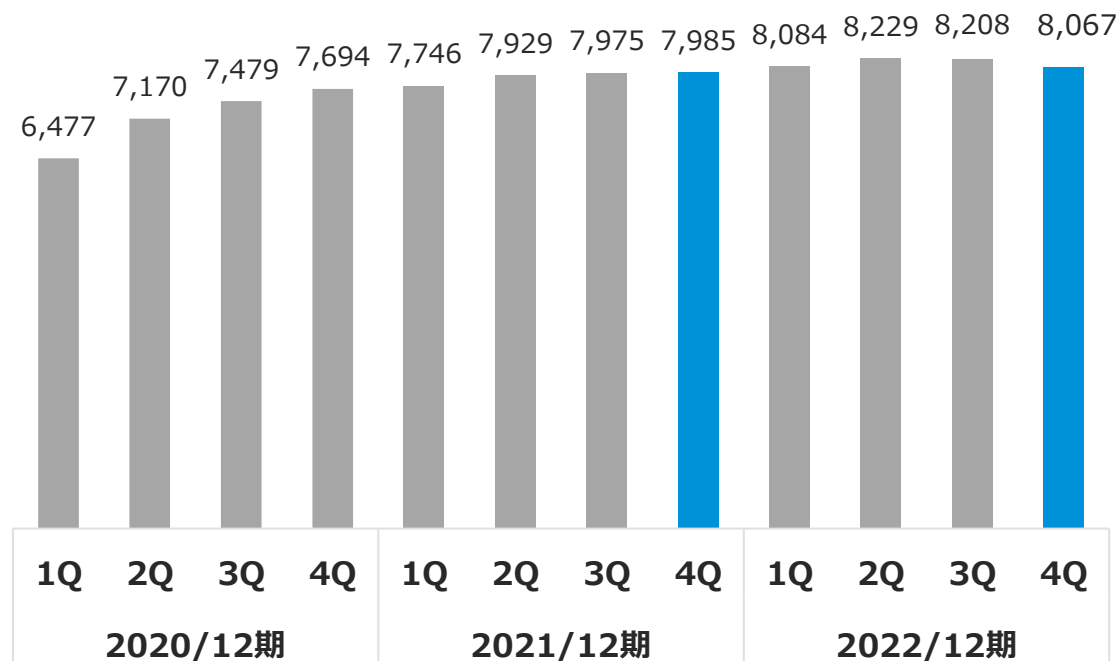
ITサービス事業 売上高

(百万円)

+9.4%



「KITARO」契約台数の推移



B/S、CF（キャッシュフロー）の状況

当期純利益増に伴い純資産が増加。自己資本比率は3.2p増の72.9%に上昇し、財務安定性は高い水準を確保

有利子負債がゼロとなり無借金経営に移行。2.9億円増加した現預金は、採用を含めた人材投資など、企業価値向上のための成長投資に活用予定
大きな設備投資はなく、FCF（フリーキャッシュフロー）は前期比3.3億円の大増。

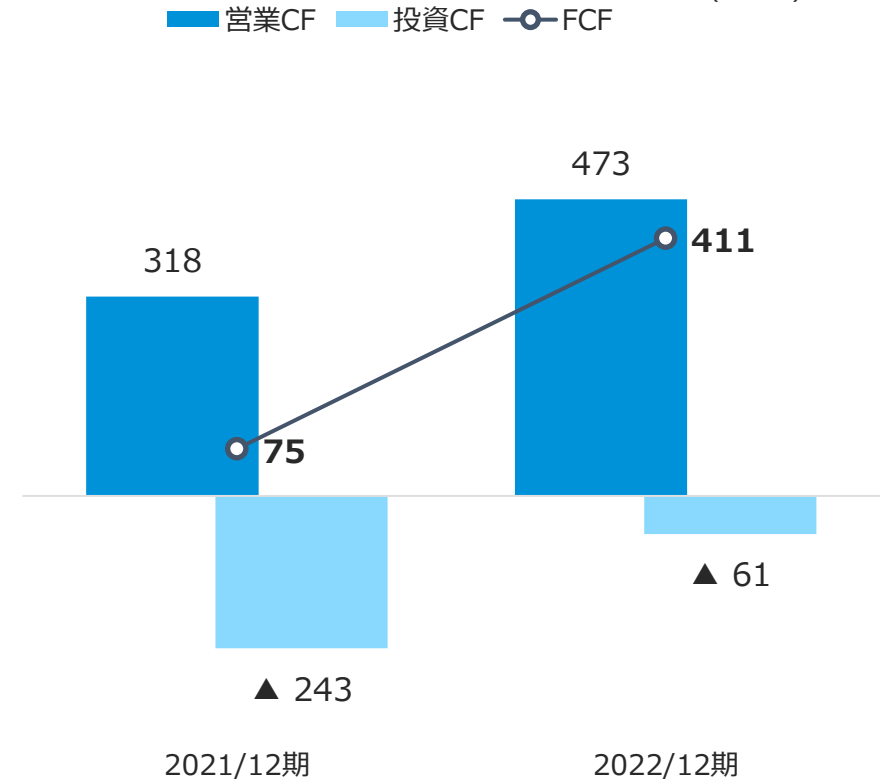
主なB/Sの状況

(百万円)

	2021/12期	2022/12期	前期比増減
流動資産	2,567	2,931	+364
現預金	1,768	2,063	+294
売掛金及び契約資産	707	804	+96
棚卸資産	35	13	▲21
固定資産	529	555	+25
のれん	276	245	▲30
総資産	3,097	3,487	+389
負債	939	943	+4
買掛金	151	200	+49
有利子負債	116	—	▲116
退職給付に係る負債	214	246	+32
純資産	2,158	2,543	+385
負債純資産合計	3,097	3,487	+389
自己資本比率	69.7%	72.9%	+3.2p

主なキャッシュフロー数値の状況

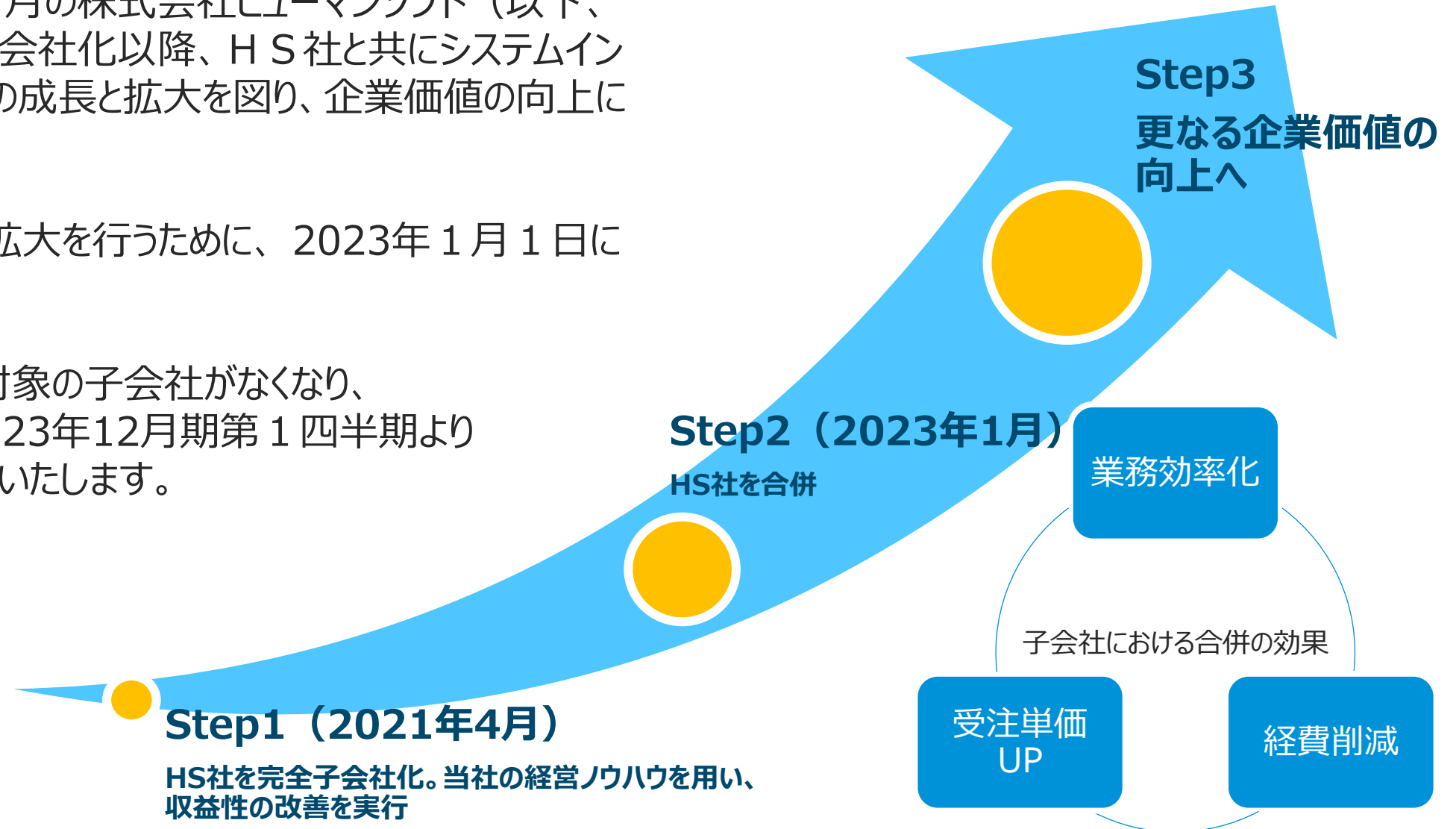
(百万円)



当社は、2021年4月の株式会社ヒューマンソフト（以下、HS社）の完全子会社化以降、HS社と共にシステムインテグレーション事業の成長と拡大を図り、企業価値の向上に努めてまいりました。

今後の更なる業容拡大を行うために、2023年1月1日に合併いたしました。

本合併により連結対象の子会社がなくなり、当社グループは、2023年12月期第1四半期より非連結決算に移行いたします。



子育てサポート企業「くるみん」認定取得

2022年5月17日付で厚生労働省東京労働局より子育てサポート企業として「くるみん」認定を取得



次世代育成支援対策推進法に基づき、従業員の仕事と子育ての両立のための行動計画を策定・実施するなど、一定の要件を満たした企業が子育てサポート企業として厚生労働大臣から認定を受けられる制度

今後も仕事と育児・介護の両立や、有給休暇取得率の向上などの「働き方改革」を進めていくことで、すべての従業員がいきいきと働くことができる環境づくりに取り組んでまいります。

健康優良企業「銀の認定」取得

2021年12月に健康保険組合連合会東京連合会へ「健康企業宣言」を行い、健康経営への取り組みが評価され、2022年8月9日付で健康優良企業「銀の認定」を取得いたしました。



「銀の認定」とは、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、定期健康診断受診率100%、健診結果活用、健康づくり環境の整備、食、運動、禁煙、心の健康の項目について、職場の健康づくりと環境整備に取り組む、一定の成果を上げた企業を健康優良企業として認定する制度です

当社は今後も健康優良企業として、社員全員が心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境づくりに取り組み、健康経営を推進してまいります。

スポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛

2022年度は、6つの大会とイベントに、アクシス賞として大会を支えるボランティアスタッフの皆様にはスポーツタオルを贈呈いたしました。



当社は、親子の絆を深めるスポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛しています。これからも当社は、子どもたちが明るく過ごせる社会のために活動をしていきます。

青少年福祉センター第16回チャリティ大バザーに協力

10月2日（日）に開催された「第16回チャリティ大バザー」（主催：青少年福祉センター後援会）において、当社社員がボランティアで運営スタッフとして参加いたしました。

バザーの売上金は児童養護施設、自立援助ホームの運営資金となります。

当社は、少しでも多くの子どもたちの自立への手助けをし、子どもたちを明るい未来に繋ぐために、今後も社会福祉法人 青少年福祉センターを支援いたします。



社会福祉法人 青少年福祉センター <http://wfc.or.jp/>

クラウドサービス「KITARO」 改正道路交通法（アルコールチェック義務化）に完全対応 ～アルコール検知器を2022年9月末より販売開始～

アルコール検知器とのデータ連携とビデオ通話機能により、効率的で確実な検査結果の記録が可能になります。



今後も引き続き、安心・安全な社会の実現に向けて、
様々なサービスを提供してまいります。

*検知器利用によるアルコールチェックの義務化は、無期限の延期となっております。

トヨタ・コニック・プロ株式会社実施の小型モビリティを活用 した移動サービス『ときモビ』の実証実験にクラウドサービス 「KITARO」で協力

トヨタ・コニック・プロ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長田 准）が山口県宇部市「ときわ公園」にて行う、小型モビリティを活用した移動サービス『ときモビ』の実証実験に、位置情報取得機能の提供で協力いたしました。

ときモビ@ときわ公園 <https://coubic.com/tokimobi-tqp>

今回の実証実験において利用している端末は、バッテリー内蔵で消費電力の少ない通信方式のため一度充電すれば最大で半年持続可能な端末です。今後は、今回の実証実験で得られる知見を活かし、自転車やバイク、そしてBEVといった、これまで「KITARO」サービスでは対応が難しかった領域にも対応範囲を広げ、お客様のあらゆるニーズに対応していく予定です。



サイバー保険自動付帯型 次世代エンドポイントセキュリティ「Deep Instinct」販売開始

三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：舩曳 真一郎）との提携により、最大1,000万円まで補償する「Jyro Security サイバー保険自動付帯型 Deep Instinct」の販売を2022年10月より開始いたしました。

<https://jyro-security.com/service/deep-instinct/>



Jyro Securityは、システム開発に強みを持つアクシスが開始したサイバーセキュリティの診断・運用・保守・デジタルフォレンジックまでを一気通貫で提供するトータルセキュリティ・サービスブランドです。中堅・中小企業のサイバーセキュリティのあり方に向き合い、日本のセキュリティ地盤の底上げを目指すことを目的に2022年に立ち上げました。

今後も、中堅・中小企業に向けたサイバーセキュリティの最適解を追究し、導入しやすい価格で提供してまいります。

ペネトレーションテスト製品 「ImmuniWeb®」の取扱い開始

スイス発の PTaaS（ペネトレーションテストアズアサービス）製品である ImmuniWeb® は、開発の各フェーズでセキュリティの自動チェックが可能

従来のシステム開発で課題であった、セキュリティに対する考慮不足を解決し、よりセキュアな製品の開発が可能

Web システムの脆弱性を解決するPTaaS を従来より迅速、かつ低コストで提供



ImmuniWeb®は、グローバル 60 カ国で利用
日本国内では、2021 年度は前年度比+88%で検査数が増加
情報セキュリティサービス台帳に登録（登録番号 021-0018-20）

エン・ジャパン株式会社とデジタル人材教育用コンテンツの開発などに取り組むことを目的として業務提携（7/21）

デジタル人材育成サービスにてエン・ジャパンの「エンカレッジオンライン」を利用した教育プログラムを提供しておりますが、今後、両社はエンカレッジのシステム活用のみならず、顧客・市場ニーズを把握しながらデジタル人材教育用コンテンツの開発と提供に取り組んでまいります。

企業の業務効率化を促進する各種クラウドサービスの導入支援を開始

協賛企業・サービスの例



■ デジタルコンサルティングサービス

<https://www.axis-net.co.jp/consulting/>

経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

2022年6月1日付で経済産業省が定めるDX認定制度において、「DX認定事業者」に認定



「情報処理の促進に関する法律」に基づき、デジタル技術による社会変革を踏まえて経営者に求められる対応をまとめた「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応し、経営ビジョンの策定や戦略、体制の整備などDX推進の準備が整っている企業を国が認定する制度

今後も、DXの推進により、人々の生活や社会・企業に貢献し、企業価値の向上に努めてまいります。

Ⅱ 2023年12月期 通期業績見通し



売上高

6,734百万円
(前期比+15.0%)

営業利益

634百万円
(前期比+10.0%)

営業利益率

9.4%
(前期比-0.4p)

■ポイント

- ✓ 15%増収、10%営業増益と4期連続の増収・増益、過去最高更新を見込む
- ✓ DXを含む企業のITシステム投資は引き続き好調想定（金融、成長領域、直ユーザー案件受注を見込む）
- ✓ 更なる成長のための積極的な人材投資により、営業利益率は前期比-0.4pの9.4%を見込む
- ✓ 配当は、記念配を普通配として継続すると共に、**5円増配し合計15円/株**を予定
- ✓ 資源高及び物価高の業績への影響は軽微と想定

2023年12月期の通期業績見通し

DXを含む企業のITシステム投資が引き続き好調を想定

システムインテグレーション事業は8.2億円の増収、ITサービス事業では0.5億円増収を見込む

(百万円)

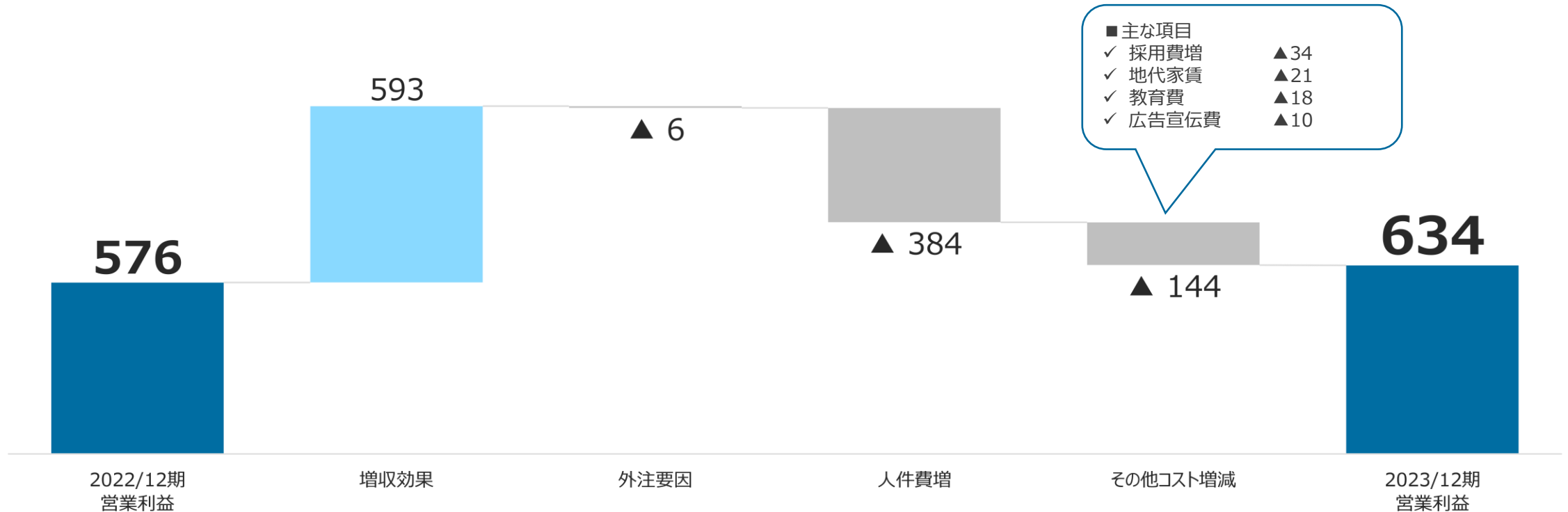
	2022/12期 (連結)	2023/12期 (単体) 通期業績見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,854	6,734	+879	15.0%
システムインテグレーション事業(SI)	5,569	6,391	+821	14.7%
ITサービス事業(IT)	285	343	+58	20.3%
売上総利益	1,495	1,726	+230	15.4%
営業利益	576	634	+57	10.0%
経常利益	586	649	+62	10.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	390	461	+71	18.4%
1株当たり当期純利益 (円)	97.05	111.27	+14.22	14.7%
売上総利益率	25.5%	25.6%		0.1p
営業利益率	9.8%	9.4%		-0.4p
経常利益率	10.0%	9.6%		-0.4p
＜業績見通し前提＞				
SI プロジェクト件数 (件)	302	305	+3	+1.0%
SI プロジェクト平均単価 (千円)	18,449	20,954	+2,510	13.6%
SI 社員一人当たり売上高 (千円)	14,065	14,329	+264	1.9%
IT 「KITARO」契約台数 (台)	8,067	9,027	+960	11.9%

※2023年12月期より非連結決算に移行。前期比は、2021年12月期の連結決算との比較
2022年12月期決算短信の「2023年12月期の個別業績予想」における前期比は単体業績との比較

資源高及び物価高などの影響はない想定。堅調な企業のIT投資により継続して売上の拡大を見込む
エンジニアの中途採用や本社スタッフ増強による人件費増を吸収し、営業利益は大幅増の見通し

営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)



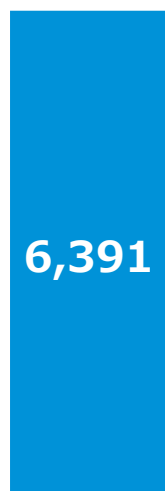
引き続き、クラウド開発案件など、企業のDX/IT投資は好調に推移する見込み

受注体制の増大と高収益案件へのシフトにより、規模の拡大と収益性向上の両立を目指す

売上高：6,391百万円

+14.7%

(百万円)



2022/12期

2023/12期

重点施策	
高収益案件へシフト	
	クラウド化導入支援などの成長領域や直ユーザー案件受注に注力
	強みである金融分野、公共・社会インフラ分野を更に増加
受注体制の増大	
	パートナー比率40%以上を目指す
	パートナーとの共創意識を醸成し、強固な取引関係を構築
積極的な人材投資を実施	
	AWSを活用したクラウド化案件等、成長領域の専門知識を強化
	新卒・中途社員の採用を継続して拡大
	早期戦力化に向けた教育の更なる充実を図る

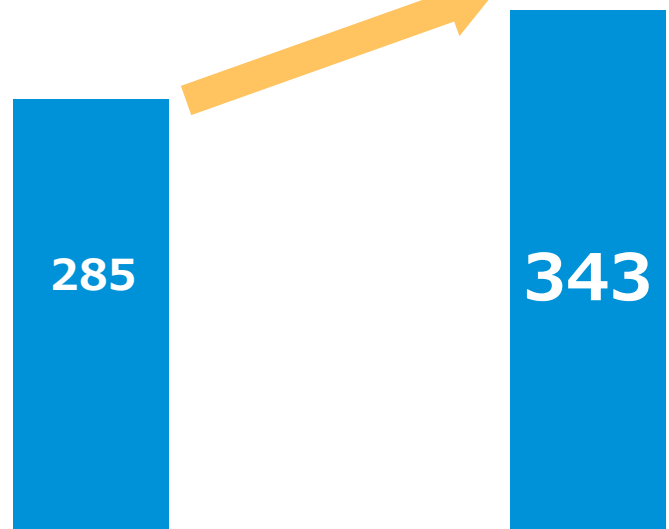
クラウドサービスは、「KITARO」の解約台数が減少傾向（2021年12月期比）のため需要回復を想定。「KITARO」での機能アップや新たなサービスの提供により多様化を図る

セキュリティ及びデジタルコンサルティングサービスは、事業の安定化に向けた活動を実施

売上高：343百万円

+20.3%

(百万円)



2022/12期

2023/12期

重点施策

・クラウドサービス

「KITARO」は、広告宣伝を積極的に展開し、期末契約台数9,027台（+960台）を計画

新たなサービスの提供を開始予定

・セキュリティサービス

セキュリティオペレーションセンターや脆弱性診断の人材サービスの提供

エンドポイントなどのセキュリティ製品の販売

・デジタルコンサルティングサービス

中小企業のバックオフィス業務効率化に注力

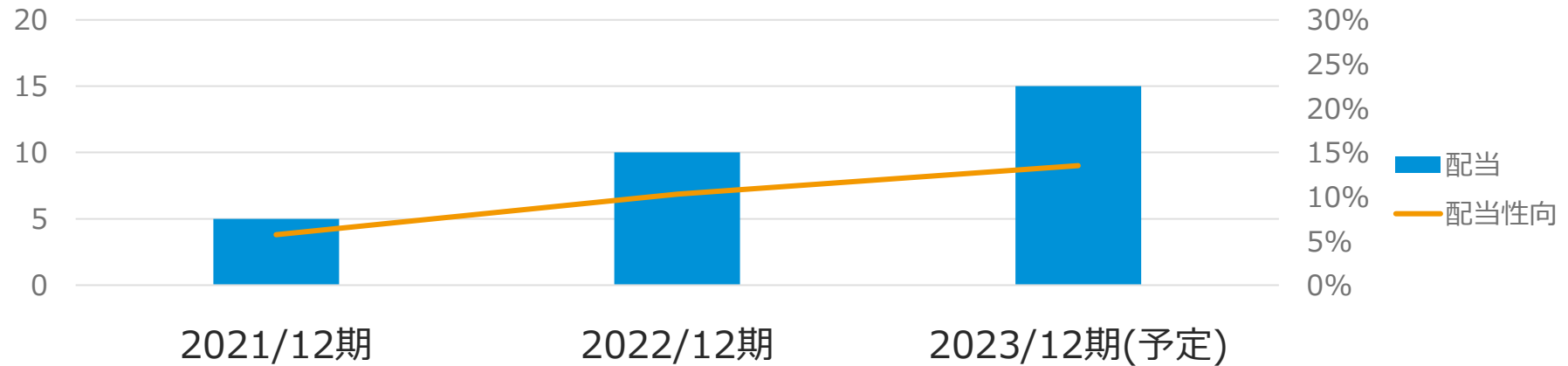
多様なDXのニーズに応えるため、デジタル化を支援するサービスおよび製品の拡充と整備を進める

株主還元：1株当たり年間5円増配し合計15円に

前期の東証スタンダード市場への市場区分変更の記念配当を普通配として継続すると共に、

今期は1株当たり年間 **5円を増配し、合計15.0円**を予定

成長への投資が必要となるものの、今後も株主還元は重視し、安定した配当を実施する方針



1株当たり年間配当	5円	10円	15円
配当性向	5.7%	10.3%	13.5%

Appendix



中期経営計画

本パートは2021年11月11日に開示した「中期経営計画2025」の一部抜粋による再掲となります



デジタルで社会に貢献する



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



進化するデジタル社会において、
成長性の高い技術・サービスを提供する



より良い製品サービスを提供し、
社会の中で存在価値の高い企業となる

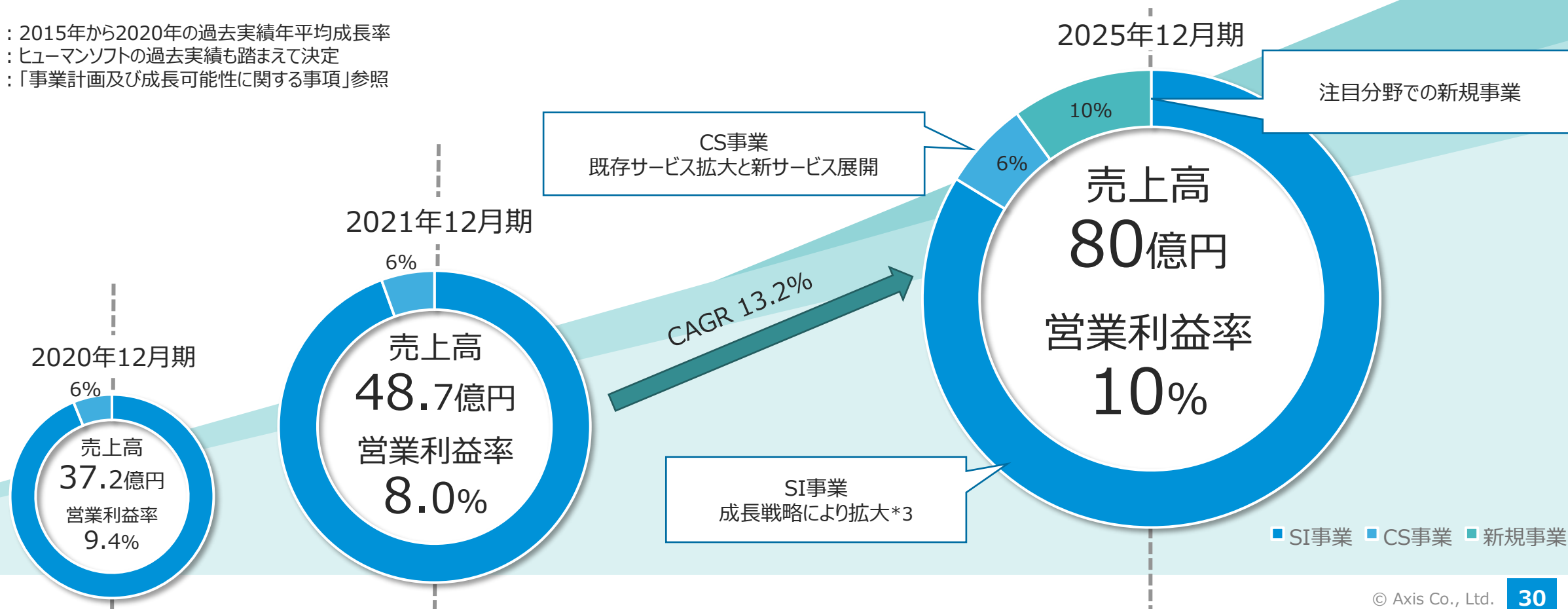


環境、社会、ガバナンス（ESG）を重視し、
持続的成長を目指す

過去実績年平均成長率*1（11.2%）を踏まえ、既存事業の平均成長率10%*2に新規事業の売上げを加算し年平均成長率を13.2%と見込む

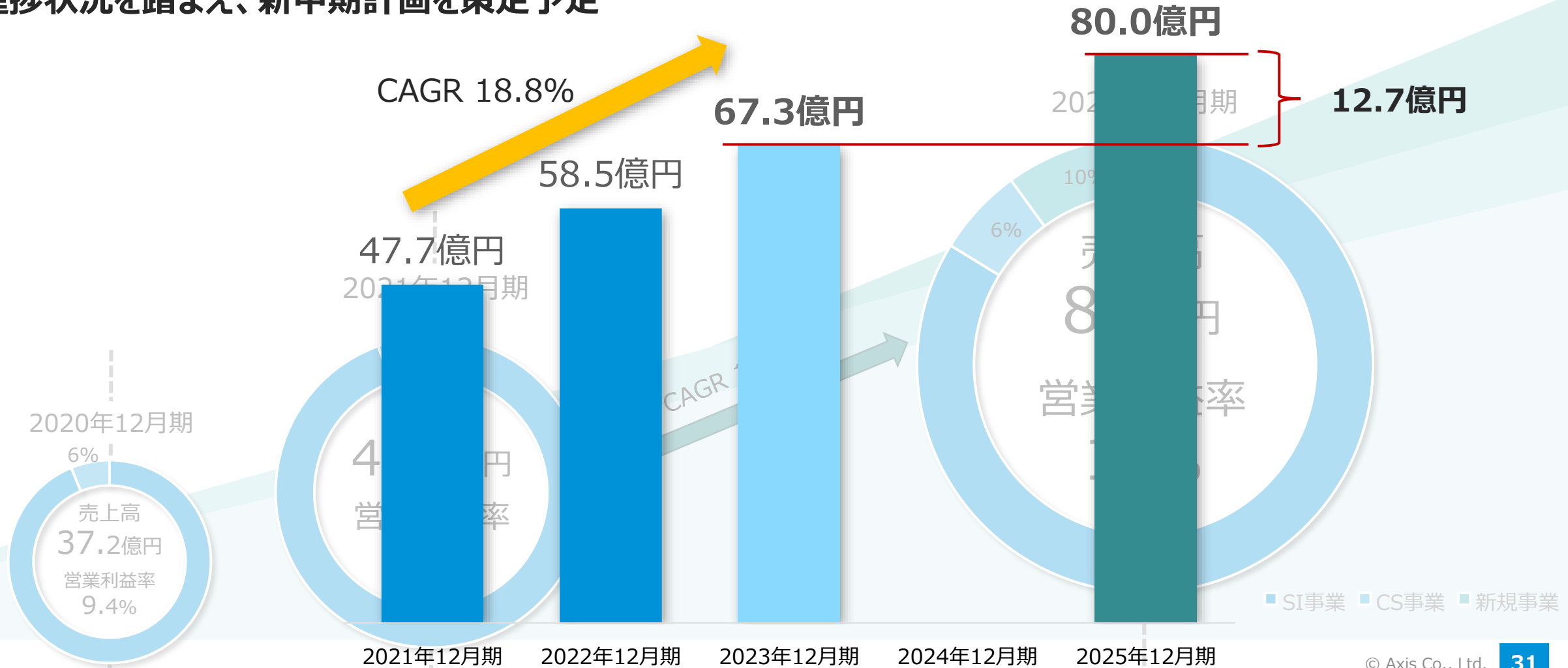
現在のシステムインテグレーション(SI)事業、クラウドサービス(CS)事業を拡大させると共に、顧客のデジタル経営を支える新たな事業を開始し、更なる成長ステージに向けてステップアップ

- *1：2015年から2020年の過去実績年平均成長率
- *2：ヒューマンソフトの過去実績も踏まえて決定
- *3：「事業計画及び成長可能性に関する事項」参照



2023年12月期は、売上高67.3億円を見込んでおり、2021年から2023年の年平均成長率は18.8%と目標の13.2%を大きく超え、前倒して進捗予定

進捗状況を踏まえ、新中期計画を策定予定



決算年月	単位	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期 (連結)	2022/12期 (連結)
売上高	(千円)	3,213,726	3,410,572	3,723,231	4,774,221	5,854,855
経常利益	(千円)	275,019	184,161	364,567	528,243	586,452
当期純利益 *1	(千円)	192,695	131,204	258,697	349,234	390,167
資本金	(千円)	50,000	50,000	74,610	77,881	86,659
純資産額	(千円)	1,339,688	1,470,893	1,806,373	2,158,111	2,543,262
総資産額	(千円)	1,924,286	2,042,166	2,487,690	3,097,288	3,487,169
1株当たり純資産 *2	(円)	348.52	382.65	451.60	537.32	626.36
1株当たり当期純利益 *2	(円)	50.13	34.13	66.61	87.30	97.05
自己資本比率	(%)	69.6	72.0	72.6	69.7	72.9
自己資本利益率	(%)	15.5	9.3	15.8	16.2	15.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	133,383	208,864	446,520	318,834	473,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲100,988	▲11,014	▲6,105	▲243,798	▲61,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲73,308	▲59,451	56,187	▲15,204	▲119,190
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	1,073,443	1,211,684	1,707,609	1,768,742	2,063,078
従業員数	(人)	254	281	298	399	430

*1 2021年12月期、2022年12月期は、親会社株主に帰属する当期純利益

*2 当社は、2020年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施。2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。
2018年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

当資料に記載されている数値については、端数の切り捨て処理を行っており、合算値が一致しない箇所がございます。

<問い合わせ先>

経営企画室 IR担当

03-6205-8540

ir@axis-net.co.jp